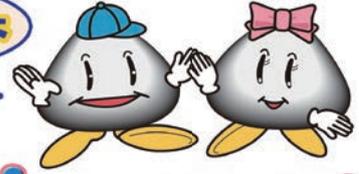


あそびにおいでよ



道の駅

十三湖高原まつり

日時 8月22日(日) 9:00~15:00(雨天決行)

場所 道の駅「十三湖高原」

9:00~十三湖産しじみすくいどり

物産販売

- ▷ たこ焼きやきやき裕次郎(キッチンカー)
- ▷ 道の駅つるた(各種果物、いがめんち、唐揚げ)
- ▷ 道の駅もりた(焼きそば、豚串、リンゴスムージー)
- ▷ お花のやまや(花き)*十三湖高原店内

詳細は新型コロナウイルスの感染状況により変更される場合があります。

お問い合わせ

株式会社トーサム(道の駅十三湖高原)

TEL62-3556

当日限り!

大当たりが出ると
ジャンボスコップで!
※はずれの場合「ミニシャベル」



道の駅十三湖高原名物

十三湖産しじみすくいどり

同時開催：大粒しじみ大特価販売

今月号の表紙

〔相内の虫送り 奉納用の虫を制作する様子〕

今月号の表紙は、相内青年団の方が虫送りの虫を制作している様子です。

相内の虫送りは約450年以上の歴史を誇り、津軽一円で行われている虫送りの原型ともいわれています。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で運行は行わず奉納のみとなりました。コロナ禍にあっても大切な地域の伝統を守るため、団員が協力して、約1週間かけて制作したそうです。

6月12日に行われた虫送りでは、団員と地域住民が、「虫」を相内神明宮境内の田んぼが一望できる場所に奉納し、囃子と太刀振りで今年の五穀豊穡と無病息災を祈願しました。

佐藤洋二団長は「来年はぜひ地区を運行したい。中止するのは簡単だが、途絶えてしまう。子ども達が大人になったときに引き継いでもらえるよう、できる限り最善を尽くしていきたい」と話しました。

◎奥津軽虫と火まつり

五所川原地区では、6月19日に五所川原青年会議所が「奥津軽虫と火まつり」を神明宮で開催しました。感染症の影響により、関係者のみで囃子や獅子舞などの演舞、お焚き上げ、神事を行い、天下泰平・国家安泰・五穀豊穡・悪疫退散を祈願しました。

平田浩介実行委員長は「山あり谷ありだったが、開催できたことは幸い。地域の幸せとコロナ収束を願って準備を進めてきました」と話しました。



最後にフキの葉で踊る参加者



ヤッサー(弥栄)の掛け声が響く神事の様子